車上狙い許しません！

美里工生 ポスターで防犯訴え

【沖縄】車上狙いや自転車盗など身近な犯罪が増えている沖縄署越来ブロック（村吉政健交番所長）は、近くの県立美里工業高校の生徒と協力して防犯用看板とポスターを作っている。県警によると、交番が独自でポスターを作るなどの対策を打ち出すことは珍しいという。村吉所長は「生徒と一緒に地域のパトロールなども検討したい」と話している。

今年六月末現在の同署管内の空き巣や車上狙いなど身近な犯罪は、約二百八十件（暫定値）で前年同期比22%の減。管内四ブロックでは、北前交番ブロックの42・1%減を筆頭に軒並み減少しているが、越来交番ブロックだけが6・6%増加している。

防犯対策を迫られた村吉所長は、高校生にポスターと看板のモデルを募集。同所長は「鍵をしっかり掛け、車内に金品を置かないなど対策が重要になる。住民自ら防犯意識を高める必要がある」と強調した。

応募作品は全部で二十九点。その中から増加が著しい車上狙いと自転車盗からそれぞれ三点選んだ。看板やポスターは八月にも自治会事務所や団地などに張る予定。

看板の原案に選ばれた同校二年のディロング夏美さんは「子どもにも分かりやすく、防犯意識が高まればうれしい」と意気込んだ。

自転車の盗難防止を呼び掛ける看板の下絵を描くディロング夏美さん（右）＝沖縄市・県立美里工業高校

豊崎開発 影響は「限定的」

ゼファー民事再生

【豊見城】不動産業「ゼファー」（東京都、飯岡隆夫社長）が十八日に東京地裁へ民事再生法の適用を申請したことで、同社が豊崎タウンで進めるホテル事業が継続できるかどうかは、再生計画案が提出される十月中旬に決まる見通しだ。二〇〇九年度に着工予定だったホテル計画が中断することになれば、街づくりの遅れは避けられない。しかし豊見城東道路など、周辺のインフラ整備が着実に進み、豊崎への企業の関心は高い。関係者は「長期的には、街づくりへの影響は限定的だ」と静観する。（仲本利之）

ゼファーは〇六年、豊崎タウンに五百室の大型ホテル建設を発表。市は「観光の拠点になる」と大きな期待を寄せた。しかし同社は土地の購入代金二十億円の一割を保証金として支払った後、残金は未払い状態に。

米サブプライム住宅ローン問題で金融機関の融資姿勢が厳しさを増し、開発物件の売却にブレーキがかかった同社は資金難に陥り、民事再生法の適用を申請した。

今後、豊崎での企業進出の「模様眺め」が懸念されるが、県内金融機関の関係者は「ゼファーの企業経営の問題で、豊崎の魅力は決して失われてはいない」と指摘。その上で「沖縄の観光客の着実な伸びを背景に、豊見城など本島西海岸への投資意欲はむしろ旺盛だ」と強調する。

企業の投資意欲なお旺盛

「他にない魅力」と関係者

「豊崎のホテルでは最も早い〇九年三月の開業を目指し、全百六十八室のホテルを建設中の富士開発（横浜市）の小尾一事業部長は「空港に隣接し、ビジネスとリゾートの両方のニーズを満たす豊崎の魅力は、他地域にない」と評価する。

同社は〇四年、那覇市赤嶺に全百二十六室のホテルを開業。空港に近い利便性が支持され、年間稼働率は八割を誇る。

小尾事業部長は「豊崎の新ホテルでは、最盛期にあふれ気味の赤嶺の宿泊利用をカバーする。ビーチに隣接した好立地を生かしてリゾート性を高め、幅広い客層を獲得したい」と両ホテルの相乗効果を狙う。

今後、交通網の整備が進む豊崎タウンでは、ゼファー以外に三件のホテル計画が進行。二件の大型ホテルは一一年開業を予定している。

一方、ゼファーはホテル以外にも豊崎タウンで高層マンションの建設計画を抱え、〇七年に開業した大型商業施設「とみとん」の事業主となる特定目的会社に出資者としてかかわる。

ゼファーが絡む開発案件は、県内だけで十二件あるとされ今後は、工事受注した県内建設業者への影響も懸念される。市や県土地開発公社は「ゼファーには債務弁済禁止の保全処分が出ており、再生計画がまとまるまでは様子を見守りたい」と話している。

災害時の対応で支援協定を締結

市と電気工事業組合

【沖縄】中部電気工事業協同組合（大城政明理事長）と市は二十九日、市役所で「災害時における応急対策等の災害支援に関する協定」を締結した。

市内で災害が発生し電気機械の設置や維持が必要となった際、同組合が資機材の提供や技術者の派遣などの災害支援を行い、応急対策を実施する。

市は市地域防災計画や災害対応マニュアルに同組合の支援を記載し、今後、防災訓練の参加も呼び掛ける。

協定調印式で大城理事長は「われわれ電気のプロ集団が、災害時には率先して応急対策に当たりたい」とあいさつ。

島袋芳敬副市長は「市内には高齢者の一人暮らしは約四千人に上る。いざというとき助け合えるよう日ごろから防災意識を高め、さまざまなネットワークを確立することが大切。防災行政に理解してもらい感謝する」と謝意を示した。

レクリエーションで交流する高千穂町と豊見城市の子どもたち＝豊見城市・とよみ小体育館

スポーツと芸能 さわやかに交流

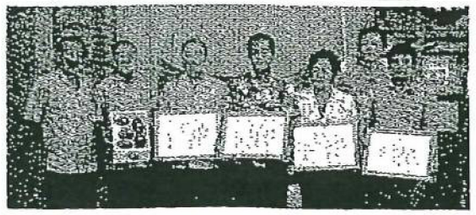
豊見城と高千穂の小中学生

【豊見城】市と宮崎県高千穂町の子どもたちが一緒に汗を流すスポーツ交流大会が二十七日、とよみ小体育館で開かれた。両市町は姉妹都市を結んでいる。

子どもたちは、バレーボールとサッカー、剣道の三種目で交流試合をした。

高千穂町からは四十三人の小、中学生が参加した。同町の子どもたちは二年に一度、豊見城市を訪れているという。

試合後はレクリエーションやエイサーの披露などの交流セレモニーを楽しんだ。



島尻養護が大活躍

6人制スポーツで汗

【沖縄】県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会（仲本和美会長）は二十七日、第十七回交

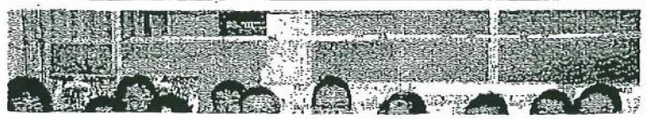
ソフトバレー
を展開しつつ
沖知P連の会
・県総合運動
ーションドー
流スポーツ大
運動公園レク
ンドームで開
父母の交流
年異なる種目
に挑戦してお
六人制スポー
した。県内六
チームが参加
に家族への
た。
島尻養護学
が優勝し、同
が準優勝した

マンゴー入賞報

JA豊見城支店

【豊見城】「第一回県マンゴーコンテスト」に入賞したJAおきなわ豊見城支店の生産者四人が二十八日、市役所に金城豊明市長を訪ね、受賞報告をした＝写真。

コンテストは二十日に浦添市の県中央卸売市場で開催。最優秀賞こそ逃したものの、



Tシ

【与那原】
引きの一つ、
曳きがメーン
なる「与那原
八月二、三の
山青少年広場
開かれるのを
三社が二十八
員会に、スポ
ゴが入った
呈した。

ん(53)＝渡嘉
賞に輝いた
和さん(53)＝
幸雄さん(57)
百子さん(53)
の三人が優
全入賞者九人
人を豊見城市
が占め、「